

令和7年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日)

概	名称	公益財団法人宮崎県観光協会		所在地	宮崎市錦町1番10号 宮崎グリーンシアター壱番館3階	
	電話番号	0985-26-6100		ホームページ	https://www.kanko-miyazaki.jp/	
	設立年月日	平成16年4月1日	代表者	会長 米良 充典	県所管部・課	商工観光労働部 観光経済交流局観光推進課
	総出資額	280,000 千円		県出資額	107,500 千円	県出資比率
要	設立目的	国内外の観光客、コンベンション及びスポーツ大会・合宿等の誘致並びに関係者に対する支援等を行うことにより、宮崎県内における観光の振興を図り、地域経済の活性化、文化の向上及び国際交流の促進に寄与することを目的とする。				
	特記事項					

内容		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①公社等のあり方見直し	効果的、効率的な組織運営体制のあり方の検討	<p>(計画) 市町村観光協会の代表等を新たに理事に加え、より広く意見の集約を図ることで、効果的な事業実施に繋げていく。また、より効果的・効率的な組織のあり方について検討していく。</p> <p>(実績) 組織運営にあたり市町村の意見をより一層反映させるため、新たに県内4市観光協会の会長等を理事に加えた。</p>	<p>(計画) 県内各市町村観光協会会長会議の開催など、各市町村観光協会と意見交換を行うことで連携を深め、より効果的な観光施策が実施できる体制を構築する。</p> <p>(実績) 市町村観光協会会長会議における意見交換等を通じて市町村観光協会との連携を深めることにより、効果的な観光施策の実施体制構築に努めた。</p>	<p>(計画) 県内各市町村観光協会会長会議の開催など、各市町村観光協会と意見交換を行うことで連携を深め、より効果的な観光施策が実施できる体制を構築する。</p>	
	経営・事業運営改善	最新ニーズの把握と効果的誘客活動展開、新たな収益確保の検討・実施	<p>(計画) コロナ後を見据えた本県の観光回復・振興に向け、引き続き観光関連事業者や市町村観光協会等との連携を深める、効果的な誘客活動が展開できるように努める。</p> <p>(実績) 新型コロナウイルス感染症や原油高騰により観光業界が大きな影響を受ける中、引き続き地域共通クーポンの発行等を行い、県内外からの誘客促進等による本県観光の回復・振興を図った。 また、稼ぐ観光地づくりに取り組む市町村観光協会や民間事業者を支援したほか、個別事業ごとに市町村観光協会等と適宜意見交換を行い、効果的・効果的に事業を実施した。</p>	<p>(計画) 本県ならではの観光資源を生かした「周遊・滞在型観光の更なる推進」、「インバウンド需要の積極的な取込み」、「全県化・通年化・多様化に繋がるスポーツ合宿等の誘致・支援」、「アンバサダーとの連携によるMICEの誘致・受入強化」の4つの軸を効果的に進めるため、職員が県内各市町村を回り、それぞれが有する観光素材、抱える課題等の共有を図る。</p> <p>(実績) 県内4地域に分けて開催したブロック会議において、各市町村が有する観光素材に係る情報収集や、抱える課題等の共有を図った。</p>	<p>(計画) 本県ならではの観光資源を生かした「周遊・滞在型観光の更なる推進」、「インバウンド需要の積極的な取込み」、「全県化・通年化・多様化に繋がるスポーツ合宿等の誘致・支援」、「アンバサダーとの連携によるMICEの誘致・受入強化」の4つの軸を効果的に進めるため、職員が県内各市町村を回り、それぞれが有する観光素材、抱える課題等の共有を図る。</p>
②公社等の経営見直し	財務改善	自主財源の確保策検討・実施、経費削減の実施、賛助会員の拡大	<p>(計画) 消耗品、光熱費等の徹底管理、時間外勤務の縮減に努める。また、賛助会員確保、会費収入維持に努めるほか、カレンダーの販売促進など、自主財源の確保に努める。</p> <p>(実績) 新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいた賛助会費について、新たな賛助会員の確保等により増額させることができた。また、観光カレンダーについて、引き続き掲載する写真を公募形式としたほか、積極的な販売促進により完売させるなど自主財源の確保に努めた。</p>	<p>(計画) 消耗品、光熱費等の徹底管理、時間外勤務の縮減に努める。また、賛助会員確保、会費収入維持に努めるほか、カレンダーの販売促進など、自主財源の確保に努める。</p> <p>(実績) 消耗品、光熱費等の徹底管理、時間外勤務の縮減に努めた。また、賛助会員確保、会費収入維持に努めるとともに、カレンダーの販売促進など、自主財源の確保にも取り組んだ。</p>	<p>(計画) 消耗品、光熱費等の徹底管理、時間外勤務の縮減に努める。また、賛助会員確保、会費収入維持に努めるほか、カレンダーの販売促進など、自主財源の確保に努める。</p>

革 工 程	組織等適正化	組織体制の見直しの検討・実施、人員配置の見直しの検討・実施	(計画) 今後の組織体制のあり方や人的配置について、県と協議しながら検討していく。 (実績) インバウンド需要の回復を見据え、海外誘致部の人員配置を厚くした。また、人材派遣会社から職員を派遣してもらう等、組織体制の充実化を図った。	(計画) 観光協会の取組をより充実させるため、新たに嘱託職員等を雇用するなど、組織体制の強化を図る。 (実績) 市町村協会との連携強化を図るため、「観光地域づくり担当」を1名増員するなど、組織体制の充実を図った。	(計画) 今後の組織体制のあり方や人的配置について、県とも協議しながら検討していく。	
	③ 県と公社等の関係見直し	人的支援見直し	県職員の役職就任・派遣の見直し	(計画) 県派遣職員の能力を生かし、県や市町村観光協会との連携強化や、プロパー職員の能力向上などを進めて行く。 また、今後の人員配置のあり方についても、県と協議しながら検討していく。 (実績) 県OB、県派遣職員の経験等を生かし、県補助事業の円滑な実施や県・市町村観光協会との連携強化など、協会の組織体制につなげた。	(計画) 県OB、県派遣職員の能力や人脈を生かし、県や市町村観光協会との連携強化や、プロパー職員の能力向上、協会業務の改善などを進めて行く。 また、今後の人員配置のあり方についても、県と協議しながら検討していく。 (実績) 県OB、県派遣職員の経験等を生かし、県補助事業の円滑な実施や県・市町村観光協会との連携強化など、協会の組織体制につなげた。	(計画) 県OB、県派遣職員の能力や人脈を生かし、県や市町村観光協会との連携強化や、プロパー職員の能力向上、協会業務の改善などを進めて行く。 また、今後の人員配置のあり方についても、県と協議しながら検討していく。
		財政支出見直し	補助事業・委託事業の内容・積算見直し	(計画) コロナ後を見据え、今後の観光関連産業支援のあり方等について県と協議を行い、事業の内容や規模等について見直しを行う。 (実績) 旅行支援キャンペーンを断続的に実施するなど、新型コロナウイルスや原油価格の高騰等により大きな影響を受けた観光関連産業の支援を図った。また、アフターコロナを見据え、キャンペーンの実施にあたっては規模の見直しなどを行った。	(計画) 今後の観光関連産業支援のあり方等について、県、市町村観光協会、観光関係事業者と協議を行い、必要な事業を構築していく。 (実績) 令和6年8月の日向灘を震源とした地震や台風10号などにより深刻な影響が生じた宿泊業界をはじめとした本市観光業の景気回復を図るため、県と連携して経済対策に取り組んだ。	(計画) 今後の観光関連産業支援のあり方等について、県、市町村観光協会、観光関係事業者と協議を行い、必要な事業を構築していく。
④ 情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(計画) 宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」について、より検索されやすいサイトにするためにリニューアルを実施する。 また、引き続き協会の事業実績、決算報告等を掲載するなど、協会の情報公開を図る。 (実績) 宮崎県観光情報サイトについて、より検索されやすいサイトにするためにリニューアルした。 また、協会の事業実績、決算報告等を掲載するなど、協会の情報公開に努めた。	(計画) リニューアルしたホームページに加え、InstagramなどのSNSを効果的に活用し、市町村の観光情報も含め積極的に発信していく。 また、引き続き協会の事業実績、決算報告等を掲載するなど、協会の情報公開を図る。 (実績) 県や市町村の観光情報発信に積極的に取り組んだ。 また、協会の事業実績、決算報告等を掲載するなど、協会の情報公開に努めた。	(計画) リニューアルしたホームページに加え、InstagramなどのSNSを効果的に活用し、市町村の観光情報も含め積極的に発信していく。 また、引き続き協会の事業実績、決算報告等を掲載するなど、協会の情報公開を図る。		

	(人)	令和6年度				令和7年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	30	1	4	25	30	1	5	24
	常勤	2	0	2	0	2	0	2	0
	非常勤	28	1	2	25	28	1	3	24
	職員数	23	5	5	13	25	5	5	15
県関与の状況		(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	0
	県補助金	9,134,113	3,637,668	1,074,581	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	0
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	26,445	25,911	27,021	

	その他の県からの支援等				
主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和6年度 決算額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	種別
	① 観光振興事業	国内外からの観光誘客促進のためのセールスプロモーション、モニターツアー、広告宣伝・情報発信等	835,255	423,020	補助金
	② スポーツランドみやざき推進事業	スポーツイベント等開催支援、スポーツキャンプ合宿誘致・受入体制整備	133,128	144,350	補助金
	③ 宮崎県観光協会運営費補助金	(公財)宮崎県観光協会の円滑な運営と、より一層の誘致体制の強化を図るための運営費補助	72,564	74,892	補助金
	④ 国内外から選ばれる観光地域づくり支援事業	宮崎県DMOの設置運営	22,136	24,724	補助金
⑤ みやざきユニバーサルツーリズムセンター事業	みやざきユニバーサルツーリズムセンターの運営	11,500	11,500	補助金	

実施事業	①国内外の観光客、MICE及びスポーツイベント等の誘致及び受入支援 ②MICE主催者に対する支援 ③観光、MICE及びスポーツイベント等の広報及び宣伝、調査及び企画・開発 ④観光、MICE及びスポーツイベント等の誘致に必要な観光関連施設を運営する者に対する支援						
活動指標	指標名	算式(単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 観光入込客数	(千人回)	14,440	15,315	106.1%	15,880	16,500
	② MICE参加者数	(延人)	148,800	78,320	52.6%	194,400	240,000
	③ スポーツキャンプ参加者数	(延人)	200,000	208,457	104.2%	225,000	250,000
指標の設定に関する留意事項	指標①については暦年の数値 指標①、②の実績値は確定時期の関係から未記入						

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)				貸借対照表 (千円)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
	経常収益	9,193,640	3,701,988	1,140,010	資産	2,992,461	435,132	695,729
	経常費用	9,192,948	3,702,425	1,139,409	流動資産	2,700,010	144,140	394,791
	当期経常増減額	692	-437	602	固定資産	292,452	290,992	300,938
	経常外収益	0	0	0	負債	2,669,897	113,005	373,000
	経常外費用	0	0	0	流動負債	2,667,025	110,877	362,874
	当期経常外増減額	0	0	0	固定負債	2,873	2,128	10,126
	当期一般正味財産増減額	692	-437	602	正味財産	322,564	322,127	322,729
	一般正味財産期首残高	39,423	40,115	39,678	指定正味財産	282,449	282,449	282,449
	一般正味財産期末残高	40,115	39,678	40,280	(うち基本財産への充当額)	280,000	280,000	280,000
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	2,449	2,449	2,449
	指定正味財産期首残高	282,449	282,449	282,449	一般正味財産	40,115	39,678	40,280
	指定正味財産期末残高	282,449	282,449	282,449	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産期末残高	322,564	322,127	322,729	(うち特定資産への充当額)	6,356	6,356	6,356	

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
	① 自己収入比率	(基本財産運用収入+自己収入+自主事業収入) / 当期支出合計 × 100	20.0	4.0	19.9%	20.0	20.0
	※ 令和6年度 実績値の算式	(5,088+36,868+3,500) / 1,139,409 × 100					
	② 流動比率	流動資産 / 流動負債 × 100 (%)	100.0	108.8	108.8%	100.0	100.0
	※ 令和6年度 実績値の算式	394,791 / 362,874 × 100					
	③ 管理費比率	管理費 / 当期支出合計 × 100 (%)	25.0	1.7	193.2%	25.0	25.0
	※ 令和6年度 実績値の算式	19,490 / 1,139,409 × 100					
指標の設定に関する留意事項	令和5年度から「自主事業比率」を財務の健全性に関する指標である「流動比率」に変更 ※ 管理費比率については、過去数年にわたって目標値を大きく下回っており、管理費節減については一定の効果があつたと考えていることから、令和8年度に向け、他の財務指標への見直しを検討中						

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	<p>公社等 自己評価</p> <p>周遊・滞在型観光の更なる推進や、インバウンド需要の積極的な取込み、スポーツ合宿等の誘致・支援、MICEの誘致・受入強化に取り組むとともに、令和6年8月地震や台風10号などにより深刻な影響が生じた宿泊業界をはじめとした本県観光業の景気回復を図るため、観光情報の発信や誘客対策を緊急的に実施した。補助金等比率は改善しているが、依然として自己収入比率が低い状況であることから、賛助会費の確保等、自主財源の増加が引き続き必要である。</p>					<p>県所管部課 二次評価</p> <p>活動指標のうち2つは目標値を上回っており、県内旅行需要を喚起するクーポンの付与や、旅行会社や交通機関等と連携した観光プロモーションの実施、スポーツキャンプ大会総合窓口の設置など、観光振興に必要な事業を迅速かつ効果的に実施できたことは評価できる。 財務について、流動比率や管理費比率は目標値を上回っているが、自己収入比率は目標値を下回っている。今後は、自主財源の増加に向けて、賛助会員確保のための取組等をより一層推進していく必要がある。</p>																		
	<p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</p>	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	<p>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</p>	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営														
		B	B	B	B		B	B	B	B														
	<p>目標 達成度</p>	<table border="1"> <caption>目標達成度 (目標値に対する達成率)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標①</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>活動指標②</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>活動指標③</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標①</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>財務指標②</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標③</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>									指標	達成率 (%)	活動指標①	100	活動指標②	50	活動指標③	100	財務指標①	20	財務指標②	100	財務指標③	200
指標	達成率 (%)																							
活動指標①	100																							
活動指標②	50																							
活動指標③	100																							
財務指標①	20																							
財務指標②	100																							
財務指標③	200																							